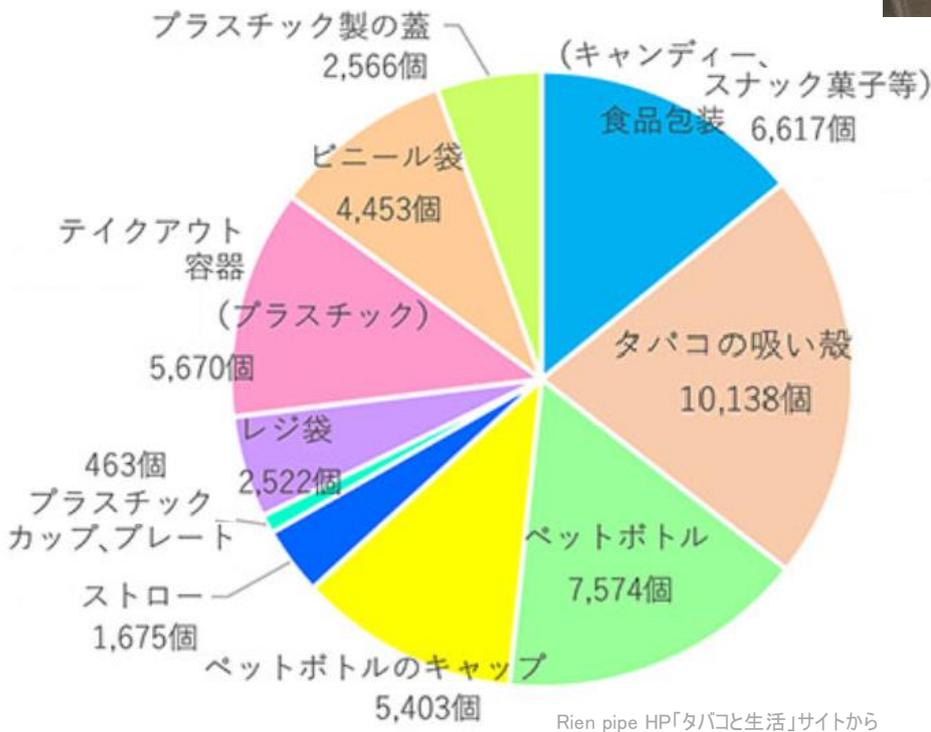


# 週刊 タバコの正体

タバコを吸った後には必ず“吸い殻”が残ります。火災にならないように消火を確実にしたうえで吸い殻も適切に処分する必要がありますが、写真のようにポイ捨てされているケースもよく見かけます。何本かの吸い殻が捨てられている所には、「自分も捨ててもいい」と思ってしまいがちです。



## 日本の海岸で回収されたゴミの分類



「たった一本ぐらい」という気持ちもあるでしょうが、チリも積もれば山となるがごとく、左のグラフを見て下さい。これは世界の海岸と海の清掃活動をしている国際的な非営利団体「Ocean Conservancy」が報告した2020年度の海岸で回収されたゴミの数を示しています。世界中で回収したタバコの吸い殻の数は420万個以上で、そのうち日本の海岸では1万個以上が回収されたとされています。

路上などに捨てられた吸い殻は雨や風にさらされて、やがて川から海へと流されていきます。「たった一本の吸い殻」が地球の環境汚染につながっているのです。

タバコを吸う人が少なくなれば吸い殻も確実に減ります。自分自身の健康と地球の環境を守るために、タバコを吸い始めないで下さい。

産業デザイン科 奥田 恭久

